

## 11

C型慢性肝炎に対する LEM の長期使用経験

○ 中村 浩、堀田洋介、重田浩一（上市厚生病院内科）、鈴木信孝（金沢大学産婦人科）

【目的】免疫賦活作用を有するといわれているシタケ菌糸体抽出物（LEM）の C 型慢性肝炎に対する作用を臨床において検討した

【方法】C 型慢性活動性肝炎 4 例（インターフェロン無効例 1 例、インターフェロン後再燃例 2 例、未治療例 1 例）に LEM 1 日 3 グラムを服用させトランスアミナーゼ、ビリルビン、血小板、血清タンパク、自覚症状を指標に臨床経過判定を行った。また、副作用についても検討した。

【結果】4 例中 2 例は投与後 1 年を経過した頃より GOT、GPT の低下傾向が認められた。2 例は GOT、GPT の数値に変化は認められなかった。ビリルビン、タンパク、血小板値には 4 例とも著変を認めなかった。4 例中 2 例に自覚症状の改善を認めた。4 例とも特に副作用を認めなかった。

【考察】4 例中 2 例に GOT、GPT の改善を認めた。改善を認めた 2 例とも内服開始後 1 年を経過した頃より改善傾向を認めるようになった。自覚症状も 2 例で改善を認めた。4 例いずれにも副作用は認めなかった。現在改善の認められない 2 例も長期の内服により改善傾向が出る可能性もあると考えられさらに経過を観察し検討を加えたいと考えている。